

## 長野大学の公立大学法人化に関する市民懇談会 質疑・回答の概要

開催日時	会場	参加人数	質問・意見	アンケート 回答数
平成 28 年 4 月 27 日 (水) 19 時 00 分 ~ 21 時 00 分	長野大学 リプロホール	105 人	7 件	12 件
平成 28 年 5 月 10 日 (火) 19 時 00 分 ~ 20 時 40 分	丸子文化会館 小ホール	68 人	6 件	13 件
平成 28 年 5 月 11 日 (水) 19 時 00 分 ~ 20 時 30 分	サントミュージゼ 大スタジオ	102 人	3 件	11 件
合 計		275 人	16 件	36 件

4 月 27 日 (水) 19 時 00 分 ~ 21 時 00 分 / 長野大学 リプロホール

1 出席者 【市】母袋市長、金子学園都市担当参事、中村公立大学法人化準備室長  
【大学】嶋田理事長、中村学長、稲木副学長、森副学長

2 参加人数 105 人

3 質問・意見 7 件

**A 氏** ・市民への説明は公立大学法人化が決まってからやると聞いていたが、その前に場を設けたことについて感謝申し上げる。

・大学に交付する運営費交付金について、基準財政需要額を超えない範囲で交付するとのことで、何年か経てば黒字経営になるようである。議会定例会などにおいて当初から言っていた「市の負担は増えない」という説明について、間違いないかもう一度明言してほしい。

【市参事】大学を設置するとその分かかる費用について大学生 1 人当たりいくら、というお金（地方交付税）が国から措置され、その範囲内で大学に支出するので市に新たな負担は生じない。

- ・地方独立行政法人法で自治体が資本金の額の2分の1以上を大学に出資するとあるが、どうやって調達するのか。

【市参事】公立大学法人化する際には学校法人長野学園が解散する。その時に土地と建物を市に寄附いただく。それを市が出資することになるが、それが資本金額の2分の1以上に相当するということである。

- ・公立大学法人化するのはいつの予定か。

【市参事】平成29年4月を予定している。

- ・経営が厳しく、大学を閉じることを検討したこともあるという率直な説明があり、好感を持った。今まではそういう説明が無かった。

- ・「長野大学公立大学法人化検討委員会」の報告書の中で、公立大学法人化の要望書を提出した時点では改革案を示しておらず、財政支援の恒常化のみを求めていたのではないかと発言した委員がいたが、それにどう答えるのか。

【学長】経営危機を回避するためだけに公立化を要望したわけではない。地域にとって必要な大学、今まで以上に地域貢献できる大学に生まれ変わるという大きな意図があり、そのための議論をしたうえでのことである。

- ・改革案は抽象的に思える。詳しく教えてほしい。

【学長】大学改革検討委員会をこれまで3回開催し、外部の先生にも助言をいただき議論しているところである。たとえばの話として、現行の3学部を2学部に変更するといったことを検討している。

- ・平成29年4月開学を目指しているということだが、1年切っている。大学が変わらなければ市民から支持されない。間に合うのか。

【学長】ひとまず現行体制で公立化し、速やかに検討を進め平成31年に新しい枠組みでスタートさせたい。

- B氏** ・過去を反省し、教員が立派にならなければ駄目だと思う。今のままで国や県や市に支援をお願いするのはおかしい。卒業できなかった人間がたくさんいるが授業料を返してから出直すべきである。

【学長】振り返って反省すべき点は反省したうえで公立化させていただきたい。改革検討委員会でも素直に受け止め、責任を持って改革することで果たしていきたい。

- C氏 ・ 未来を語るには過去をきちんと語ってから展望すべきである。地元の住民が土地を提供したという思いを大切にしてほしい。舞田の人たちが提供した土地を転売して経営が成り立ってきた経過がある。大学の用地として提供したはずの舞田の裏山は今やゴミ置き場同然となっている。総合大学という案も頓挫した。このような事実関係を改革検討委員会の中でも過去のことを総括して明らかにすべきでないか。自治会や地元住民に意見を聴くことをしてはいかがか。

【学長】地元理解を得たいと考えており、自治会との話を今からでもしたいと思っている。

- ・ 大学は最高学府であり、人づくりや学問・研究をする場である。厳しい時代が来るのが目に見えているからといって改革するのは本末転倒だと思う。魅力ある大学づくりをすれば学生は集まる。大学の本義という点で、改革するのはどうなのか。公立化によって行政と一緒にしても体制の論理ではなく学問の論理で大学が動くというのがあるべき姿である。大学の自治と学問の自由について、学長や教授の任命権は誰にあるのか。学問の自由が保証されるよう議論してほしい。

【学長】大学の自治と学問の自由については学内で議論してきている。当然守られるべきものであり、市の理解もいただいている。改革検討委員会でも担保されるように議論したい。

【市参事】市が設置する大学ということで、研究の成果や大学の知を行政に生かしていただきたいという思いがある。市の意向が働くことになるが、大学の自治をいかに守るかということは重要だと考えている。理事長の任命は市長が行うが、学長や教授の人事権は大学にある。施設の管理や学生に関すること、どのような教育研究活動を行うか、予算管理も大学にお任せする。大学の自治は守られると考えている。

- D氏 ・ 少子高齢化は大きな問題。自分も前期高齢者であり、周りを見てもおじいさんとおばあさんばかりである。そんな状況で 1,300 人余の若人を失うのは本当に恐ろしい話である。いろいろ大変な問題はあるかもしれないが、何よりも大学と学生には居続けてもらいたい。これから地方の私立大学はどんどん潰れていき、東京の有力私立大学に学生が集中し、他の学生も首都圏に流れていくことになる。乗り切るには公立化しかないと思っている。問題点を解決し、速やかに公立化してほしい。

【市長】地方創生という時代の中で地域の元気をどう出すかという時に若者は欠かせないと考えている。先達が築き、支えてきてくれたものを切り捨てるこ

とはできない。いかに持続可能なものにしていくか、真剣に議論していく。

【理事長】長野大学は7千万円と10万坪の土地の寄附を受けた公設民営大学だという重みがあり、存続させなければという思いである。教育のベースは地域にある。地域の思いを実現させ、恩返しをしたい。市の発展に寄与したい。

- ・国はお金を出したくないから1つの県で1つしか公立大学を作らないという考えだと聞いた。県内の他の大学も公立化を目指しているそうだが、もし県で1つしか選ばれないなら地域の応援が重要だと思われる。いずれにしても速やかに公立化を目指してもらいたい。

【市長】国にそういう考え（県に一つしか公立大学を作らないという考え）はないと思っている。長野大学のあり方については、50年後を視野に入れてチャレンジをしていくしかないと思っており、そのために公立化を目指している。過去の反省もしながら改善し、そのうえで大学という存在のブランド化を図りたい。

- E氏 ・2年前から学生のインターンシップを受け入れたり、ボランティアに来ている学生と接している。公立化を目指すときはその学生たちから大きな歓声が上がった。上田で就職し、自治会の担い手になりたいと言っている学生は多い。「2025年問題（団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）に達することにより、社会保障費の急増が懸念される問題のこと）」を控えている中、長野大学には人に寄り添うことができる学生が多く集まってきている。地域の役に立ちたいという学生が多くいるということを今日は伝えたかった。

- F氏 ・本州大学が設立される際に1千坪の土地を売った。農学部を作るということだったので協力した。ところが、その土地は転売され住宅地となった。その後、不動産会社は倒産し、土地は競売されゴミ置き場のような酷い状態となった。そんな経緯はあるが、良い点もある。私は現在、ときどき大学に来て勉強させてもらっている。地域が衰退する中、どうやったら活性化するか地域が関心を持って取り組むべきである。里山が荒れれば里も荒れる。千曲川の上流からきれいにしていく方策を考えて提案をしてほしい。環境を守る大学、住民が手を結ぶ大学になってほしい。

- G氏** ・今回の議事録を公表するかどうか。  
 【市参事】議事録を作成し、ホームページに公表する。
- ・地方交付税は長野大学に対する分だと明確に区分されて、国から交付されるのか。それが明確になっていて、新たな財政負担がないというのなら納得できる。  
 【市参事】地方交付税は例えば消防費など、項目ごとに計算され、大学を設置することによる必要な経費も組み込まれて計算される。
- ・市として大学運営をどのようにチェックするのか。是正措置の機能をどうやって果たすのか。  
 【市参事】大学の運営方針の基になる中期目標を市が作るが、外部委員で構成する「公立大学法人評価委員会」の意見をいただいて作る。大学の運営が中期目標に基づいて行われているか評価する仕組みになっており、是正が必要と認められれば勧告する。
- ・大学の存続は否定しないが、公立化の理由が明確でない。何らかの形で必然性を住民に分かるようにしてほしい。大学側が公立化を要望した時には大学院を作るという説明はなかったと思う。ビジョンが二転三転しているのではないか。今日の説明が絵に描いた餅にならないか懸念する。  
 【学長】理由や必然性は住民の皆さんに分かるようにしていきたい。大学院のことは地域貢献の充実を図るために市と共同研究をする必要があるという考えになり、グランドデザインを描く中で設置が必要だという議論になったものである。
- ・地域づくり総合センター（仮称）について、今も同じ役割の組織はあるか。なければいつからどのようにやるのか聞きたい。これが機能しなければ公立化は成り立たないと思う。  
 【学長】地域づくり総合センターは今年度に立ち上げる予定である。公立化とは関係なく、学生や教職員の活動を充実させるという意気込みの表れである。

#### 4 アンケート概要 12件

先人や地域の思い、学生や未来を担う若者の思いを大切に。  
 より良い大学となるよう、公立大学法人化を進めていただきたい。

分かりやすく回答されていた。

公立大学法人化に賛成。充実した大学になることが必要で、それがまちの発展に繋がると思う。少子化の時代に先細りしないようためにも公立大学法人化は必要と考える。

自分の子が2年生で在学中。地域に出て学ぶことも多く、先生方にも育てていただき、学生の中でも大いに勉強している。

公立化推進すべき。

多くの人材を受け入れ、育て、2025年問題へ向けて明るい上田地域づくりに頑張ってもらいたい。

多くの生徒が上田に就職し、活躍してほしい。

財政に限りはあると思うが、人材はすぐに育たないので優先順位を上げるべきと思う。

(経営シミュレーションでは)収支の見込みは運営費交付金が無ければマイナスになっている。地方交付税は国の制度で、金額の見直しも将来あり得る。

自己収入額も寄附金や生徒数の増加を見込んでいますが本当にそうなるのか。市の経費負担が増えて財政を悪くしないようにしてもらいたい。

長野大学の将来ビジョンが成果を上げていくことを願っている。

塩田の方の思いが聞けて良かった。

地方交付税に頼った運営では不安。市で支えきれぬのか。

農業学部系を設けたらどうか。

遊休農地の活用、農業の後継者の育成。

運営費交付金のことが分かりにくかった。

地元自治会(塩田地域協議会)への説明会が必要

千曲川流域学会において市民と共同研究している自給圏構想は素晴らしい。地方創生にとって有力な考え方だと思う。この研究を進めるために地域づくり総合センターを東信地域のプラットフォームにすべきである。自給圏構想は県知事も

関心を寄せており大きな実現性があるので、是非取り組んでいただきたい。

長野大学はもっと早く改革案を提案して広く意見を集めるべき。平成 31 年では遅すぎる。29 年 4 月までにできなければ民意は支持しないと思う。このような対話の機会をできるだけ設けてブラッシュアップしてもらいたい。

経営シミュレーションは基準財政需要額と運営費交付金の差額を明示し、第 2 期中期目標までの 12 年間の収支を示した方が分かりやすい。

大学の改革内容が重要であり、学部学科再編を明示すべき。環境情報系学部(理系)の設置を視野に入れるべき。

市の責任ある関与を明確にするために、市からも職員を大学に派遣し、改革の進捗状況、教員の資質向上の取組等をチェックすべき。

人口減少対策のために公立大学法人化して大学を充実させることは当たり前のことと考える。

上田大学または真田大学として日本、世界に誇る大学となってほしい。

真田丸の効果、シティプロモーションの効果を最大限活用して、学生の目線で魅力ある大学に生まれ変わっていただきたい。

農業にも目を向けて定住自立圏の自治体や J A と連携して農業の担い手を育てることにチャレンジしてほしい。

5月10日(火) 19時00分～20時40分 / 丸子文化会館 小ホール

1 出席者 【市】母袋市長、金子学園都市担当参事、中村公立大学法人化準備室長  
【大学】嶋田理事長、中村学長、稲木副学長、森副学長

2 参加人数 68人

3 質問・意見 6件

**H氏** ・市が大学に交付する運営費交付金は基準財政需要額を超えない範囲とする、ということ。「公立大学法人化検討委員会」が課題としたというが、市の説明によるとその金額は約2.7億円ということである。大学生を育成したり、地方創生、地域貢献など大きな構想を実現するには2.7億円だけでは思えない。市の独自の予算も入れていただきたい。

【市参事】市から支出する運営費交付金は2.7億円以上は出さないという意味合いである。ただし、学園都市づくりを総合戦略にも銘打ってあり、大学と一緒にやる事業などについては市の独自の予算も充てていきたい。

・地域づくり総合センター(仮称)について、私はNPO法人の活動をしているが、相談に行く場所がないと感じているので、長野大学に相談に乗っていただきたい。

【市参事】上田市で今年度「まちなかキャンパス」を設置する。コーディネーターを置くので気軽に相談していただきたい。コーディネーターには各機関などとの橋渡しをしてもらいたいと考えている。

**I氏** ・信州大学繊維学部もかつては日本で有数の入りやすい大学・学部と呼ばれていた時代があったが、そこから積極的に学部の再編や改組をし、今では偏差値が工学部を超えることもある。長野大学もチャンスであるから、繊維学部の学部改組のやり方を研究されたらよろしいと思う。学園都市づくりは大賛成である。

【市長】繊維学部はかつて文部省から要らないと言われていたが、トップの先生方を中心に改革や学術研究に力を入れ、8つの分野の研究に取り組んでいき、現在の状況に至ったと認識している。市の繊維学部への関与として、AREC(浅間リサーチエクステンションセンター)という産学官連携施設を学内に作り、産学官連携の端緒とした。それがきっかけとなって、国からも「織



維学部あり」と認められ、様々な資金が導入され、今に至った経過がある。

長野大学についても高みを目指し、改革しながら次なるステップに踏み出すことが大事だと思っている。行政としてどれだけ関わってこれたかという反省はあるが、まさに今がチャンスであり、大学の質的向上を目指したい。

【学長】質的にどう変わるのかが大事である。東京などに若者が流出しているという中で、信州大学に匹敵できるレベルに上げていながら公立大学としての質を上げることで、地域に留まる学生が出てきてくれると思う。どう県外から学生を呼んでリーダーシップをとっていけるか、4年間上田の地で過ごしたというものを質的なものとして求めていながら生まれ変わっていききたい。

- 【J氏】
- ・長野大学の地域貢献度6年連続ナンバーワンは地域の誇りである。長野大学の教員が中心になった千曲川流域学会の環境保全の取り組みは素晴らしいものである。
  - ・大学を核とした産官学連携のプラットフォームが必要と感じており、長野大学と地域づくり総合センター（仮）にはその核になってほしい。
  - ・長野大学の公立大学法人化を強く希望する。

【学長】丸子地域、長和町、立科町の皆さんには大変お世話になっている。鹿教湯でも学生がお世話になり、成長させてもらっている。地元の方々に育てていただき、成長できる場として地域の皆さんには感謝している。更に地域の皆さんに大学を活用していただき、人材の循環も生みながら学生が成長できる場にさせていただきたい。

- 【K氏】
- ・長野大学は障がいを持つ学生への支援が充実している。私は聴覚障がいを持つ学生のために要約筆記をする、ノートテイクのボランティアをしている。公立化したら、聴覚障がいを持つ学生の益々の受け入れを考えていただきたいし、ノートテイクをやる学生の技術アップに繋がるように更に力を入れていただきたい。現状を見るとノートテイクを育成する時間が足りず、負担が高まっている。そういった面で、地域の力をもっと活用いただければ有難い。

【学長】公立化させていただいたら、聴覚障がいを含めた障がいを持つ学生の対応は更に充実させたいと考えている。社会福祉学部の枠組みをどう充実させるか検討している。ノートテイクのことについても議論をし、充実と継続を図りたい。

- L氏** ・心配な点があり、運営費交付金は基準財政需要額の範囲内とのことだが、財政シミュレーションを見ると、ピーク時には2.7億円なのに平成34年には2.1億円しか支出しないようになっている。それから先のシミュレーションはどうなるのか。

【市参事】財政シミュレーションでは平成31年度から入学定員を380人に増やすことを検討しており、毎年確保できれば学生数が増えるため学生納付金も増えるので、運営費交付金を上限いっぱい支出しなくても収支が均衡して、運営ができるようになるということである。

- ・公立大学になれば学生と先生にも成長していただきたいが、大学だけでなく市も変わらないといけない。
- ・長野大学の卒業生を地域の人材として市役所や地元企業などで採用し、育て、活用していただきたい。

【市参事】卒業生には地域の企業に就職していただき、人の循環を作っていきたい。是非そうなるように、様々なところに競争原理を入れ、学生や教員の質を高め、地域に優秀な人材を送り出せるような取り組みを市としても応援していきたい。

- M氏** ・公立大学法人化を要望した理由が、大学が存続するために公立化しかないがあるが、私学では改革できないのか。公立化を求めるのは何故か、私学では駄目なのか、まだ分からない。

【理事長】平成18年から25年まで定員割れが続いた経過があり、一旦定員割れすると減収が4年間続くことになる。減収分を補うには経費を削減するしかなく、教職員の給与を削ってきた。収入増のために学生募集に走り回ってきたため、教員が教育研究に時間を割けなくなってしまった。これは高等教育機関のあり方として良いのかということである。更に追い打ちをかけるように「2018年問題」が迫っている。熱い期待を受けて作った大学を潰すことはできない。公立大学法人化によって学費を国公立並みにし、地元の方へ恩恵が回るようにしたい。また、教員や学生が研究に向き合えるよう正常化を図りたい。長野大学は公設民営大学の先駆けであり、公立化する権利があると考えている。地域の中核的な役割を担うために公立化という方針を打ち出したので、御理解をお願いしたい。

・運営費交付金は基準財政需要額の範囲内で交付するとのことで、財政シミュレーションでは入学定員が380人を確保できれば運営が成り立つようだが、果たして本当にそのようになるのか。また、懸念されるのが、公立化によって市の持ち出しが増えるのではないかということである。国から交付される地方交付税の算定基準が引き下げられるのではないかと心配される。民生費などを削って大学への支出に振り向けられることがあってはならないと考える。

【市長】行政からの支出は過大にならないよう、どこで歯止めをかけるかということであると考える。運営費というランニングコストには先ほどから申し上げているとおり、上限を設定する。民生費などを削って大学に回することは絶対にないと断言する。一方で、学部・学科の再編や大学改革に必要な分であるとか、市民にも開かれたものとするを前提に、大学に支援をすることは有り得る。たとえば、以前、長野大学に図書館が作られたときには行政として支援をした。

#### 4 アンケート概要 13件

公立大学法人化に賛成。若者が定住することで活気のある地域が作られると思う。地域全体で学生を育て成長させていくことが大切だと思う。

公立大学法人化に大賛成です。地域貢献度6年連続私学第1位は素晴らしい。このままいっても定員割れして先細りしてしまう。地域を盛り上げるためにも公立化は絶対必要と思います。

丸子で市民懇談会を開いてもらったのはとてもありがたいと思いました。

公立化後の大学の変革も楽しみです。

長野大学会場にも行きましたが、有意義な話し合いでした。

将来の地域にとって公立大学法人化は大賛成です。ぜひ実現してください。上田市と長野大学の取り組みに期待しています。

私立での運営の見通しが立たないことを公立化要望の隠れ蓑にしていないか？

文化芸術を教育の根底に据え、人づくりや地域づくりに繋げてほしい。異なる感性を認め合える社会や人づくりが今こそ求められている。子どもたちの発達支援や国際性を身に付けることにも繋がる。

地域貢献は重要であり、それを大きな柱にすることに異論はないが、あまりそのことを重視するあまり、顕在化している地域課題に偏ることを懸念します。

大学の自由な発想による学術研究の成果が地域課題とうまくマッチングすることと考えていかないと大学本来の姿を失することも有り得るでしょう。そうなれば大勢の受験生が集まる魅力ある大学にはならないでしょう。

学ぶ権利を守ってほしい。

障がいを持った学生の受け入れについて、公立化に当たって目に見えるようにしていただきたい。立派な大学像はいいが、まずは選ばれる大学にならなければいけないと思います。安心して学べる環境を作り、自信を持って障がいのある学生を受け入れられるよう体制の見直しを検討していただきたい。

障がいのある子、親はできるだけ近い大学で学びたいと望んでいます。県内・近隣の障がいのある子や親に選ばれる大学になってほしいです。

また、障がい学生支援の実績を他大学に提供できるよう、近隣の大学の中心的存在になっていただきたい。

大学時代の4年間、ノートテイクとして培った技能を地域の派遣事業（意思疎通支援事業）に活用できるような形を大学に期待しています。

聴覚障がいなどコミュニケーションに障がいのある学生も同等の質を保った学生生活、学びができるようお願いいたします。障がい学生への支援が充実することを切に願うものです。

地域の力の活用も検討していただきたいと思います。

A R E C はメーカー中心。商店、サービス、農業などの業界向けの組織を作っていただきたい。

長野大学には地域の構造改革と活性化のためのプラットフォームを創造し、その核になっていただきたい。

地域に根差した大学であることが重要です。上田市を中心にした学園都市を作るにより人の流れが変化します。人口流出を防ぎ、地域に定着させるために先行投資として考えてほしい。

地域に大学があれば親の負担を少なくして、経済格差をなくして、誰でも入学できる方向でお願いしたい。

地元に着する割合を7割から8割に上昇させてほしい。

地元の高校からの入学者を増やしてほしい。

学園都市の構築大賛成

大学の基礎データ集が補足資料として提供されており、詳細な状況が示されたので分かりやすかった。

5月11日(水) 19時00分～20時30分 / サントミュージゼ 大スタジオ

1 出席者 【市】母袋市長、金子学園都市担当参事、中村公立大学法人化準備室長  
【大学】嶋田理事長、中村学長、稲木副学長、森副学長

2 参加人数 102人

3 質問・意見 3件

**N氏** ・丸子会場でも申し上げたが、地域課題の解決システムを掲げる長野大学に相応しいと思うので、大学を核とした地方創生のプラットフォームになっていただくよう提言する。

【市参事】勉強させていただき、大学と連携して地方創生に取り組みたい。

・市の説明にあった、「地域内・地域外」という表現はどう解釈したら良いか。

【市参事】地域内とは上田市を中心とした定住自立圏の範囲ということであり、東御市、坂城町、長和町、青木村、立科町、嬭恋村(群馬県吾妻郡)を含む。入試で設けることを検討している地域枠は定住自立圏内と想定しており、率先して地域から入学していただきたいと考えている。

**O氏** ・丸子会場で運営費交付金のことを質問した。基準財政需要額を超える運営費交付金を交付することは絶対に反対だと他の方が言っていたが、10年、20年先のことを考えると、それでいいのかと心配になったので御検討いただきたい。

【市参事】運営費交付金は上限を定めて支出をする。入学定員の380人を確保できれば大学の運営ができるため、その上限は守っていく。地方創生のために大学と連携して地域を作っていくようなものには別の予算を充ててまいりたい。

・人工知能の進歩が著しいが、どう考えるか。

【学長】今は即答できないが、今後研究してまいりたい。

- P氏** ・魅力ある大学づくりのためには教職員の入れ替えも選択肢に入ると思うが、どう考えるか。

【学長】学長としては現行の教職員の雇用を継続したい。今後、教員を補充していく際には能力の高い人材を、厳正な選考によって確保していく。これによって魅力ある大学づくりができると思う。

- ・学生のレベルを上げるには教職員のレベルも上げる必要がある。新しい法人になった場合の教職員はどのように採用するのか。

【学長】公立化すれば競争率が上がり、自ずと相応しい学生も集まると考えている。学生を受け入れる教職員の教育研究の向上が重要になるが、現状の教員のレベルアップに力を入れたい。教育研究を充実させるという意欲のある人材にしていきたい。現在でも学内で厳しい業績評価をしているが、更に厳正な対応をし、レベルアップに努めたい。

- ・学部学科の新設など大学改革の目途はいつか。

【学長】平成31年度から新たな学部の再編を考えており、現在の大学改革検討委員会で検討している。先を見据えて、大学として生き残るために改革を継続していく。

- ・公立大学法人化後、市に後年度負担をかけないと言って公立化を要望したと思うが、本当に市に迷惑を掛けないということが可能か、責任ある所見を聞きたい。

【学長】市に迷惑を掛けないということでやっていきたい。改革を視野に情勢を見つつ、財政や人的バランスをとりながら魅力ある大学づくりと大学運営をしたい。公立化については市に財政的な迷惑を掛けないということでやってまわりたい。

## 4 アンケート概要 11件

確かなことはない。挑戦するのみ！！

3日間の設営や準備等、関係者の皆さん大変ご苦労様でした。

- ・平成27年6月「検討委員会」が提起した「相当の覚悟が必要」とされましたが、昨年から今日に至るまでの時間と議論は必要なもので有意義であったと思います。
- ・この市民懇談会の開催も市議会での議決前に開かれたこともタイミング的には良かったと思います。
- ・上田市が学園都市構想を明確に掲げたことは大きな柱となり、前進です。
- ・長野大学側が何故公立大学法人化が必要なのかという点を明確にされ、多くの市民の納得できる水準になったと受け止めています。
- ・上田市を取り巻く課題は複雑で多岐に渡り、いずれも簡単に答えが出るものではありません。
- ・今回の長野大学の公立大学法人化が地域課題の解決に向けて大きな役割を果たすことを願っています。

公立大学法人化の早期実現を期待します。人口減少社会だからこそより良い教育を学生に提供することは素晴らしいと思います。授業料が下がるのも魅力。

- ・大学改革を着実に実践して、おらが町の誇れる魅力ある大学にしていきたい。スーパーローカル大学を目指してほしい。
- ・地域に定着して地域課題（人口減少・働く場所づくり・仕事づくり・ものづくり産業の振興・地消地産・地域でお金を回す仕組みづくり等々）を解決できる人材を多く輩出していきたい。
- ・学園都市を実現して、若者の地域外の流出をくい止めていただきたい。
- ・国に力強く働きかけて、公立大学法人化を実現していただきたい。地方大学を充実させて若者を育成することは当たり前のことです。当たり前のことを当たり前に実行してこの地域から日本や世界に貢献する人材を力強く育てていただきたい。
- ・大学・市のトップのやる気・情熱が大切！教育・人材育成にはお金をかけてほしい！

市側、大学側とも大変分かりやすい説明であった。一度何かすればそれで目標



達成できるのではなく、市長の「 $1 + 1 = 2$ 」ではなく「 $2 \cdot 5$ 」、「 $3$ 」の話のように、更なる改革に取り組んでいただきたい。

市の安定と向上のため公立化が早期に必要と考えます。  
学園都市の中で長野大学及び信州大学を中心とした地域貢献活動の展開を望む。

公立大学法人化ありきの懇談会だと思う。  
市と大学の説明は良く分かりました。  
社会福祉の貢献度は大きい。

現在の「長野県立短期大学」が「長野県立長野大学【注：原文のまま】」として4年制に移行いたします。ほぼ同じ頃に「学校法人長野学園 長野大学」が「公立大学法人長野大学」に移行できた場合、学校名が設立主体は異なるものの「長野大学」として県立大学と同名となりますが、受験生やその保護者にとっては紛らわしい点が出てくると思いますが、この点、公立大学法人化を議論する中で何か意見は出ていますでしょうか？

地元企業への就職率を高めることは是非取り組んでいただきたいですが、就職先のキャパシティにも限りがあると思います。そのキャパシティを増やすためにも起業をサポートする仕組みを併せて作っていただきたいと思います。

地域情勢に合った学部・学科編成が行われることを期待しています。  
大学院の設立については、もっと前倒して実施してほしい。

#### 市側

- ・国の交付金 2.7 億円は将来減額されることを想定すべき。全国の私大が公立化すると予算が足りなくなる。
- ・私大から公立化した前例の大学のその後と戦略をヒアリングしたでしょうか。
- ・お金以外に市の取り組みは？
- ・金子参事の「大学とコラボして地域活性化する事業については運営費交付金とは別予算」という発言は Good

#### 大学側

- ・学生は国内の 18 歳ばかりではないのでは？ アイディア不足
- ・長野大学が市のお荷物のイメージを持たないでほしい。